

# くずまきの魅力満載 初夏の3大まつり

6月6日と7日は「平庭高原つつじまつり」、13日と14日は「くずまき高原牧場まつり」、21日は「まちなか新緑まつり」が開催されました。各イベントで葛巻町60周年を記念した特別企画が行われ、町内外から多くの家族連れなどでにぎわいを見せました。



1 オープニングセレモニーのもちまき 2 丸太の早切りに挑戦した親子 3 押し花体験を楽しむ子どもたち 4 新緑の爽やかな風を受けながらの塩の道の散策 5 ワンコインジンギスカンは待ち時間が出るほど大盛況

## 平庭高原 つつじまつり

多彩な体験メニューと  
ワインやジンギスカンを満喫

平庭高原つつじまつりは6月6日と7日の2日間、森のこだま館などで行われました。今年はずつじの開花が早く、会場周辺は散り際でしたが、群生地つつじヶ丘と富士見平は見ごろで、町内外から訪れた約1400人が、高原に広がるつつじの群生や白樺林の鮮やかなコントラストを楽しみました。

丸太早切り大会やききワイン、山ぶどうジャム作りや押し花などの体験、料金500円のジンギスカン、ランチバイクング、塩の道の散策、森の宝さがしなど、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん。

葛巻町60周年を記念し、イベント参加者には、ハンドタオルやクッションなどの記念グッズが配られました。



人気を集めた5種類のききワイン



1 干し草の中から景品を探す「ちびっこ宝探し」には毎回多く子どもたちが参加 2 人気を集めた牛乳とヨーグルトの無料試飲コーナー 3 IBCラジオの生中継でまつりの盛況ぶりを発信したモウモウブラザーズ 4 お土産や焼きたてパンを買い求める来場者で混雑したパンハウス内

まちなか新緑まつりは6月21日、JRバス葛巻駅構内で行われ、町内外から約1500人が訪れました。

会場には賑わい市の屋台が立ち並び、へっちょこだんご300食が無料で振る舞われたほか、葛巻町60周年にちなんで600グラムのへっちょこだんご早食い大会など、趣向を凝らしたイベントが盛りだくさん。

ステージでは、馬淵川源流大鼓、葛巻高校郷土芸能部による葛巻神楽などが行われ、まつりを盛り上げました。

くずまき商業協同組合発行

## まちなか 新緑まつり



1 へっちょこ団子600グラムの早食い大会 2 プレミアム付商品券を第1号購入者に手渡す鈴木町長 3 大橋付近で行われた釣り大会

### 郷土料理や釣り大会、プレミアム商品券を先行販売

の「25%プレミアム付くずまき商品券」の先行販売も行われ、開始前に50人を超える町民が列をつくりました。

また、この日は「葛巻町60周年記念釣り大会」が大橋付近の馬淵川で行われ、多くの親子連れらが参加し、夢中になって竿を操り、大物を狙っていました。

■釣り大会結果（敬称略）  
【一般の部】熊谷勇一（36歳、新町）17匹  
【小学生の部】澤田海（葛巻小4年、城内小路）4匹  
【大物賞】神谷侑良（葛巻小1年、浦子内）29センチメートル

## くずまき高原 牧場まつり

動物とのふれあいや  
山と海の幸に約3万人



5 ヒツジの毛刈りを楽しむ親子「ヒツジさん痛くない？」 6 大道芸の技と話術に会場は大歓声 7 乾草ロールには子どもたちのイラストがびっしり 8 牛の乳しぼり体験「お母さん上手にしほれたよ！」

第19回くずまき高原牧場まつりは6月13日と14日の2日間行われ、約3万人の来場者が動物とのふれあいや多彩なイベントを楽しみました。

会場にはたくさんの屋台が立ち並び、くずまき高原牛の丸焼きやソフトクリーム、地元自治会などが朝早くから準備した郷土食、三陸復興支援ブースでは海産物が売り出され、来場者は山と海の幸を堪能しました。

IBCラジオ「大塚富夫のタウン」の生中継も行われ、総務会を務めたモウモウブラザーズがまつりの盛況ぶりを町内外へ発信しました。

牛の乳搾りやヒツジの毛刈り、牛肉ソーセージ作りなどの体験、干し草の中から景品を探す「ちびっこ宝さがし」など、子どもが楽しめるイベントも盛りだくさん。

くずまき高原牧場が歌の舞台になっているヒット曲「風の丘」の大沢桃子歌謡ショーや大道芸が会場を盛り上げました。

葛巻町60周年と町畜産開発公社創立40周年を記念し、同牧場産の牛乳とヨーグルトが無料で振る舞われました。